

KUMAMOTO YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

February 2016
vol.525

2



YMCA学院日本語科お正月体験交流

- C O N T E N T S**
- ① YMCA学院健康スポーツ科
 - ② YMCA学院海外研修／中高生英語キャンプ
自立の店ひまわり感謝の集い
 - ③ ウィンターキャンプ
Youth Act Vol.21 チャレンジスキーキャン
プに参加 森かな子さん
REPORT YMCA学院日本語科お正月体験交
流／阿蘇YMCAカウントダウンキャンプ
 - ④ タラント No.23 「一人ひとりの人間愛」
Topics 御船町スポーツセンター／水前寺幼稚園

わたしと聖句



ヨハネによる福音書6章27節

朽ちる食べ物のためではなく、いつま
でもなくならないで、永遠の命に至る
食べ物のために働きなさい。

永遠のいのちと繋がる生き方

夜空に輝く星々にも終わりがあり、
太陽もその寿命が尽きる時がやがて
来ます。形ある全てのものに終わりが
来ることは誰もが認めるところです。
歴史上の世界帝国(エジプト、バビロ

ン、ギリシャ、ローマ)も滅亡し、僅か
に栄華の痕跡を残すのみで、まして私
たち人間は長く生きても百年程度。満
足した人生を生きたと思っても、悔い
のない「永遠の命に至る食べ物」のた
めに生き抜いたかと問われれば返事
に戸惑うのが常ではないでしょうか。
冒頭の聖句は、パンの奇跡に驚いた
群衆を前にして言われたイエスのこ
とばです。有限であるはずの人間が永
遠という観念を持ち合わせているこ
と自体、私たちが永遠の世界と無縁で
はないことの証拠ではないでしょう
か。限りある人生であっても、永遠の
命に至る食べ物のために生きる人生

があることを示されたのです。そして
「永遠の命に至る食べ物」とは何かを、
求める人には教えて下さったのです。
それがヨハネによる福音書4章34節
です。「わたしの食べ物とは、わたしを
お遣わしになった方の御心を行い、そ
の業を成し遂げることである。」イエ
スにとつて永遠の命に至る食べ物は、
私たちのために自分の命を十字架で
捧げることであつたというのです。人
間中心(自己中心)の生き方から、神中
心の生き方に少しでも人生の舵をき
れたら幸いです。

天草中央キリスト教会
南圭生

YMCA学院生涯スポーツ科から「健康スポーツ科」に 心と体の健康を育む指導者育成を目指して

健康福祉科を前身として1997年に設立したY
MCA学院生涯スポーツ科が、2016年度より「健
康スポーツ科」に生まれ変わります。

生涯スポーツ科は、スポーツを通して人々の「精
神・知性・身体」の調和のとれた人格の形成に寄与で
きる人材、また、高齢社会に対応できる人材育成に、
長年にわたり取り組んできました。

近年、子どもたちの体力向上や高齢者の健康寿命
延伸が掲げられる一方で、スポーツ・介護の現場での
いじめや虐待などが取りざたされています。「健康ス
ポーツ科」は、子どもから高齢者まで、地域の人々の

心と体の健康を育む指導者育成に、より一層、力を
注ぎます。

そのために重要視するのが「人間的に成長できる
環境」です。相手の幸せを考えることができるという
人間性は、指導者としてとても重要なことだと考え
YMCAのグループワークの根幹をなすキャンプや
ボランティア活動を通して、一人ひとりに寄り添う
ことができる人材育成を目指します。

また、YMCAにはフィットネスクラブや子ども
スポーツスクールなどがあり、将来働く場をイ
メージした実習が可能です。さらに病院でのメディ
カルフィットネス実習、地域サロンでの介
護予防実習など、日常的に現場で実践を積
むことができます。

キャンプやスキー、海洋実習など、学生た
ちはとても楽しく学生生活を送っていま
す。学生に対しては「楽しむときは楽しみ、
やるべきときには自ら考えて行動する」と
いうメリハリのある指導を心がけていま
す。社会人として、自分中心ではなく、誰か
の役に立とうという他者中心の考えを持っ
て、巣立っていったほしいと願っています。

YMCA学院生涯スポーツ科専任講師

横山純一郎

楽しく学べる環境が 整っています



中嶋ありなさん
生涯スポーツ科1年

今は学ぶことが多くて大変
ですが、すごく楽しい毎日で

す。将来の目標は、病院関連の施設に勤め、周囲の人
に信頼されて頼りにしてもらえるスポーツトレー
ナーになることです。先日は、病院でのメディカル
フィットネス実習で、運動指導を経験しました。実際
の現場での実践経験を積むことは、自分自身の成長
につながり、就職にも有利になると感じました。今は
実習先だった病院にアルバイトとして採用され、病
院に来られた一人ひとりに合うプログラムを考える
仕事にも携わっています。2月から始まる職場実習
先は自分で探して選んだ病院なので、たくさん学ん
で、就職に活かしたいと張り切っています。

学院生活では、リーダーとしてキャンプに参加し
て子どもたちへの接し方を学んだり、登山もあるク
ラスキャンプで同級生との絆が深まったり。YM
CA学院には、楽しく学べる環境が整っています。加
えて、各YMCAには大人を対象にしたフィットネ
スや子どもたちのためのスポーツスクールなどがあ
り、将来の目標としている現場に近いのも魅力。2年
次も様々な経験をして、しっかり勉強したいと思い
ます。

将来に役立つ カリキュラムばかりです



上田 涼太さん
2012年度卒業
株式会社 フォーシーズン リ
ハステーション勤務

ツインストラクターを目指してYMCA学院に入
学しました。しかし、YMCAでの活動や実習を経験す
る中で、高齢者と関わる仕事をしたいと思うようにな
りました。今はリハビリ特化型デイサービスに介
護職の健康運動実践指導者として勤務し、高齢者の
介護予防運動、病後やケガをされた方のリハビリ指
導を行っています。

社会人になって、学院の授業は役立つことばかり
だったと再認識。マナーの授業で学んだ言葉遣いや
お茶の入れ方などは、褒められることが多いです。レ
クリエーションの授業では初対面の人と心を通わせ
ることができるノウハウを学びましたし、介護に関
する知識を得ることもできました。また、フルマラソ
ン挑戦やキャンプなど、楽しい思い出もいっぱい
です。特にマラソンを完走できたことは自信につな
がり、何かあっても「このくらいのことは辛くない」と
考えられるようになりました。

これからYMCA学院で学びはじめる人も、ス
ポーツに必要な知識はもちろん、幅広い視野を持ち、
どの授業もぜひ、じっくり学んでください！

多文化共生社会に向けてYMCA学院海外研修を実施

今年度も12月にYMCA学院の生涯スポーツ科、建築科、国際ホテル科がそれぞれ海外研修を実施し、学生たちが異なる文化にふれながら学びを深めました。

ホノルルマラソン完走を目指して 生涯スポーツ科／ハワイホノルル

12月10日(木)～12月16日(水)



研修最大の目標であるホノルルマラソン完走を目指し取り組みだトレーニングの成果を発揮。研修前の交通事故によりマラソンに

様々な建築を見学

建築科／シンガポール・台湾

12月14日(月)～12月23日(水・祝)



シンガポールでは世界的に有名なホテルであるマリナー・ベイ・サンズなどの現代建築を見学。さらにシンガポール・オブYMCA

一流のサービスにふれる

国際ホテル科／ハワイホノルル

12月16日(水)～12月21日(月)



滞在中はワイキキビーチ沿いにあるリゾートホテルに宿泊。クリスマスシーズンで世界各地から観光客が宿泊する中、日本人スタッフ

参加できず、現地でサポートしていた学生がいましが、仲間がその学生のゼッケンを背負い、見事完走しました。ホノルルのアサートンYMCAと交流。館内には熊本YMCAでも取り組んでいるキャラクターディベロップメントの「Caring」「Honesty」「Respect」「Responsibility」の言葉が掲げられており、学生たちはYMCAの世界的ネットワークを感じました。

も訪問し、現地での様々なプログラムについて学びを深めました。台湾では台北101をはじめとする現代建築から、総督府など日本統治時代に造られた数多くの建築を見学。建築に加えて台湾と日本との歴史についても考える機会となりました。台湾では様々な場面で日本語が通じ、学生たちはリラックスしながら学びを深めることができました。

フの案内で館内見学をしました。オーシャンビューの客室から眺めるワイキキビーチの眺めはまさに絶景でした。4カ所の現地ホテルを訪問した他、ドレスアップをしてディナークルーズも体験しました。学生たちは、2年間学習した英会話を駆使して積極的に行動し、現地の歴史や文化にふれ、ハワイでの滞在を十分に満喫しました。

上田健史郎さん

(写真左)



マラソンがきつくて歩いていたら、沿道のおじいさんが「頑張れば4時間半を切れ」と声をかけくれ、諦めずもう一度走ろうと奮い立ち、目標を達成。卒業後も健康運動指導士の資格取得を目標に、諦めることなく頑張ります！

谷口和也さん

(写真右から2番目)



シンガポールの「マリナー・ベイ・サンズ」、台湾の「台北101」。いずれも圧倒的なスケール感が印象的でした。多くの人の力を結集して造る建築物が完成した時の達成感を想像し、未来に残せる仕事をしたいと感じました。

村上和之さん

(写真右)



宿泊した「ヒルトンハワイアンビレッジ」では、宿泊客を楽しませるサービスのあり方を考えさせられました。ホテルに就職するので、海外からの宿泊客に良いサービスを提供するために、もっと語学力を磨きたいと思いました。

地球市民を目指して 全国の中学・高校生が 英語でキャンプ

2015年12月25日(金)～29日

(火)、全国のYMCAで英語を学ぶ中学・高校生を対象とした「English Camp for Global Leadership」が静岡県御殿場市の東山荘で行われました。

英語のスキルを伸ばすだけでなく、世界に目を向け、自ら考えて行動できる地球市民を育成することを目的に毎年開催。熊本からは上通YMCAとみなみYMCAに在籍している高校生2名が参加しました。

初日のオリエンテーションからすべて英語で、参加者たちは不安と戸惑いの表情でしたが、日に日に慣れ、難しい質問にも英語で答えるようになりました。世界の問題について協議し、難しい内容の質疑応答を行う姿に、指導者の方が驚かされる場面もありました。

最終日のショートスピーチでは、一人ひとりが好きなテーマを決めて、自分の意見を英語で発表しました。熊本の参加者からは「スピーチのために長い時間をかけて原稿を作り上げたことが自信につながりました。このキャンプで学んだことは、自分から動く」ということです。



す。積極的に話しかけ、知りたいことを尋ねて、行動していきたい」と思います。と感想が寄せられました。上通YMCA 桐原奈緒子

「自立の店ひまわり」 熊本YMCAでの 16年間に感謝の集い



障がい者の自立と社会参加を目指し、16年間営まれてきた中央YMCA併設の「自立の店ひまわり」。新しいスタートに

向けた2016年1月の移転の前に、12月19日(土)、「感謝の集い」が開かれました。「ひまわり」で活動するチャレンジ(障がいのある人／挑戦する人)という使命や課題、チャンスを与えられた人から熊本YMCAに感謝状が贈呈され、これまでの活動を振り返りながら思い出を共有しました。

今回で代表を退く立石邦子さんは、「私たちが目指すことと熊本YMCAの理念は共通することが多く、同じ想いを持って支援していただいたことで長きにわたって続けることができました。熱い結びつきがあった熊本YMCAの皆さんとお別れ会ができて、良い締めくくりになりました」と挨拶。新代表の牧野智子さんは「国府にオープンする新店でも、チャレンジの皆さんが生きがいと喜びを感じられる店、地域の中で愛される店にしていきたいです。YMCAの皆さんもぜひお越しください」と意気込みを語りました。歌やトーンチャイムの演奏なども披露され、皆で新しいスタートを祝いました。

WINTER CAMP



今年は12月から2月にかけて、13種類、15回のキャンプを企画。多くの子どもたちがスキーや雪あそびなどを楽しんでいます。



チャレンジスキーキャンプ

日程 12/26(土)～12/29(火) **場所** 五ヶ瀬
雪不足が環境を考える良き題材になりました。ワッペンテストまでの4日間精一杯スキーを頑張りました。



ゆきっこキャンプ

日程 1/9(土)～1/11(月・祝) **場所** 阿蘇
雪だるま作りやソリ遊び。たくさんの雪遊びを通して地球環境のことも考えるようになりました。また来年会おうね。

冬のわくわく探検隊

日程 12/26(土)～12/29(火)
場所 県内各地
ケーキ作り、クラフト作り、雪遊び、ピザ作り、いちご狩り等県内各地でいろいろな体験学習を行いました。



五ヶ瀬2泊スキーキャンプ

日程 1/4(月)～1/6(水) **場所** 五ヶ瀬
年明けてすぐのスキーキャンプ。ゲレンデを広々と使用でき、スキーのスキルがぐーんと高まりました。



クリスマスキャンプ

日程 12/26(土)～12/28(月)
場所 阿蘇
クリスマスの意味を知り、ケーキ作りやツリー飾りにより一層熱が入りました。阿蘇の大自然も堪能しました。



スポーツデイキャンプ

日程 12/26(土)～12/29(火) **場所** 熊本市近郊
4日間、様々なスポーツを楽しみました。スポーツを通して子どもたち同士の絆が深まりました。

YMCAでの活動は、人見知りであるいろいろなことに消極的だった私の人生を変えました。リーダーとして子どもたちに接した時、初対面の私にもすぐに話しかけてきてくれたことがうれしくて、自分も、周囲の人に積極的に話しかけてみようと思うようになったんです。するとどんどん世界が広がり、今は大学生活も充実していて、感謝しています！

大学の授業の一環として、夏期休暇中のボランティア活動先に選んだのがYMCAです。子どもたちの体操リーダーを経験した一週間は毎日が楽しく、継続して活動したいと思い、現在もリーダーを続けています。

この冬には、3泊4日のチャレンジスキーキャンプにリーダーとして参加し、初心者クラスの子どもたちを担当しました。初めはできなかった子が進んで片付けなどをするようになったり、人見知りだった子が積極的になったり…。日々の成長を感じてうれしくなりました。

子どもへの接し方で迷った時は、先輩リーダーに相談。「リーダーの一言で、その子の未来が変わることもある」と聞き、言葉遣いに注意するようになりました。小学校教諭を目指している私にとって、YMCAは、実際に子どもにふれることができる貴重な実践の場だと感じています。

YMCAでの活動は、人見知りであるいろいろなことに消極的だった私の人生を変えました。リーダーとして子どもたちに接した時、初対面の私にもすぐに話しかけてきてくれたことがうれしくて、自分も、周囲の人に積極的に話しかけてみようと思うようになったんです。するとどんどん世界が広がり、今は大学生活も充実していて、感謝しています！

YOUTH ACT

Vol.21 YMCAで活躍しているユース紹介

●チャレンジスキーキャンプに参加



森かな子さん
九州ルーテル学院大学心理臨床学科1年。
中央YMCA体操リーダー。



家族で楽しく年越し
日程 12月31日(木)～1月1日(金)
場所 阿蘇YMCA
毎年、大晦日からお正月を家族連れで過ごすカウントダウンキャンプ。年越しそば作りやビンゴ大会、書初め、たこ揚げ、餅つきなどを皆で楽しみ、元日の朝は、おせち料理を囲みました。

今年一番のニュースは、初日の出が見られたことです。朝焼けの雲海に浮かんだ阿蘇山に、瑞光と共に生まれた刹那、「出たー」と歓声があがり、感動を共有できた瞬間でした。

阿蘇YMCA 郷 秀文



いしくいただきました。「書初め」は、初めて筆を持ったとは思えないほど美しく、「餅つき」でついたお餅はおいしいお雑煮へと変身。笑顔溢れる体験と交流の時間を持ちました。

東部YMCA 守田愛沙

留学生が日本のお正月を体験
日時 1月5日(火) 10時～12時
場所 東部YMCA
YMCA学院日本語科の新年は、日本の伝統文化にふれる「お正月体験」が始まりました。「餅つき」「雑煮作り」「書初め」「煎茶」に分かれて、建築科学生と共に体験。新たな企画「煎茶」では、淹れ方を学びながら、煎茶を和菓子と一緒においしくいただきました。

REPORT

タラント No.23

総主事 岡 成也

一人ひとりの人間愛

育児や家事に積極的に参加する男性を表す「イクメン」や「カジメン(カジダン)」という言葉があります。社会的な言葉として定着しつつありますが、日常的に育児や家事に参加する男性は少数派であり、二極化しているようです。“ブーム”を経て“文化”として定着するにはもう少し時間がかかるのかもしれませんが。

日本は先進国の中では男女平等の程度が低いと言われています。一億総活躍社会を掲げている昨今、様々な社会的課題と向き合い育児・介護と仕事の両立を目指す新時代の家族の在り方が問われています。

現在、私の家は3世代同居家族です。私たち夫婦は両家の介護を行い、長男夫婦は子育てと仕事の両立という、悩ましいワークライフバランスの現実に向き合

ています。

J・F・ケネディ大統領の就任演説の中の有名な一節に「わが同胞、アメリカ国民よ。国家があなたに何をしてくれるかを問うのではなく、あなたが国家に対して何ができるかを自問してほしい」という言葉があります。国民みんなが国家に頼ろうとするなら、無理が生じます。日本においても国民が国からの「扶助」のみに頼っていた時代から、国家という共同体が成り立つために、その構成員がお互いのために何かをしようという自助・互助の精神が不可欠な時代になっているのではないのでしょうか。

企業や家族間においても一人ひとりの人間愛が不可欠です。共同体の中で自分のできることを考え、神様から託された命を育むことで、新たな希望が与えられるかもしれません。日々の平安と平和な世界を守り求めていきたいものです。

イジメのない世界をめざそう「ピンクシャツデー 2016」

YMCAは「ピンクシャツデー」の取組みを始めます。これはカナダでのいじめ事件をきっかけとして広まった世界的いじめ反対運動です。2月の第4水曜日をピンクシャツデーとし、ピンクのシャツや小物を身につけて、いじめのない社会を目指す思いを表します。詳細はWebサイトをご覧ください。



TOPICS 地域YMCAにまつわるトピックを順番にご紹介します。

フネッピーすこやかスポーツクラブ

御 船



御船町スポーツセンターが事務局をしている総合型地域スポーツクラブ「フネッピーすこやかスポーツクラブ」をご紹介します。このクラブはスポーツ吹矢、バドミ

トン、トランポリンをはじめ13種目のスポーツを通年で楽しむことができます。家族で参加する会員も多く、老若男女多くの人たちが活動しています。御船町内外問わずどなたでも入会でき、会員になると、すべての種目に参加できることが大きな魅力です。

初心者の方大歓迎。気軽に始められるスポーツをたくさん用意しています。見学・体験無料。詳細は御船町スポーツセンターまでお尋ねください。

御船町スポーツセンター 辻健太郎

オリジナル募金ポスター

水前寺幼稚園



水前寺幼稚園では、国際協力青少年育成年末募金に向けて子どもたち全員で取り組めるように毎年、手作りの募金箱を作っています。

今年は、募金箱に加え、もっと多くの人に募金活動を知ってもらえるよう、ポスター(写真右)と、ありがとうカードを作成しました。年長組は、楽しい時間をイメージした自分の全身の絵と、風船の中の字を1文字ずつ書き、年中組は、かわいく笑った顔を描きました。世界中の子どもたちの幸せを願い、繋がりをコンセプトに、職員がデザインを工夫し仕上げました。園内には、手作りの募金箱を活用した掲示物も飾ってあります。全園児の手作りです。ぜひ、幼稚園にも遊びにきてください。

水前寺幼稚園 井上和美

行事カレンダー 2月

- 5(金) むさしYMCAカンボジアスタディツアー(～10日)
- 6(土) YMCA学院入学試験⑥
春休み短期プログラム&スプリングキャンプWEB一般受付開始
- 7(日) 防災センターツアー(ながみね)
- 12(金) 国際協力青少年育成年末募金感謝会
- 13(土) ユースボランティアミーティング(上通)
- 14(日) 防災体験塾(むさし)
- 17(水) 歌声広場わいわい(むさし)
- 19(金) 天草オルレ(御船)
ユースボランティアミーティング(上通)
歌声広場わいわい(むさし)
- 20(土) YMCA学院入学試験⑦
- 24(水) 歌声広場わいわい(みなみ)
- 27(土) カンボジアスタディツアー研修会(むさし)
YMCA学院オープンキャンパス⑦
YMCA学院日本語科スピーチ発表会
水前寺幼稚園発表会・新入園児体験
- 28(日) YMCAサッカークラブカップ②

情報 ピックアップ

お年玉付年賀はがき切手シートでボランティア

熊本ワイズメンズクラブでは、お年玉付年賀はがきで当選した記念切手シートを集めています。切手シートは換金し、視覚障がい児プログラムのボニーキャンプなど社会福祉事業の活動資金に充てられます。お手元に届いた年賀はがきに切手シートが当選しているものがありましたら、最寄りの郵便局で切手シートに交換してご寄贈ください。

お問合せ／熊本ワイズメンズクラブ(担当藤川)
TEL096-353-6391

YMCA会員交流デイキャンプ

新築の黒川保育園園舎で交流を深めましょう。みんなで力を合わせて旧園舎から新園舎への引越し作業をした後に、美味しいバーベキューや記念植樹を行います。阿蘇YMCAの新トーテムポール完成セレモニーも行います。

日程:2016年3月21日(祝・月)

集合:中央YMCA(バス利用) 8:00

阿蘇YMCA 9:30

黒川保育園 10:00

場所:黒川保育園新園舎・阿蘇YMCA

対象:YMCA会員とご家族

参加費:大人(中学生以上)1,000円、子ども500円

(バス利用の場合、別途一人500円)

主催:熊本YMCA

主管:阿蘇YMCA・野外教育運営委員会

お問合せ・お申込み／阿蘇YMCA
TEL0967-35-0124 FAX0967-35-1642

Kumamoto YMCA Network

中央YMCA ☎096-353-6391
YMCA学院 ☎096-353-6393
YMCA学院高等学校 ☎096-353-6391
本部事務局 ☎096-353-6397

みなみYMCA ☎096-378-9370
上通YMCA ☎096-352-2344
東部YMCA ☎096-382-6661
ながみねファミリーYMCA ☎096-385-0676

むさしYMCA
阿蘇YMCA
尾ヶ石保育園
永草保育園
赤水保育園
黒川保育園

☎096-248-6334
☎0967-35-0124
☎0967-32-0213
☎0967-32-0810
☎0967-35-0024
☎0967-34-0402

水前寺幼稚園 ☎096-362-4141
就労支援センター ☎096-312-1333
リフレスおおむた ☎0944-58-7777
御船町スポーツセンター ☎096-282-4111
益城町総合運動公園 ☎096-289-2433

●発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-1873 熊本市中央区新町1-3-18
TEL096-1353-6397(代)

●発行人／岡 成也
●編集人／神保 勝己 定価60円 購読料は会費を含む

2015年度基本聖句

どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天に下りてくださる。(マタイによる福音書18章19節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会
生涯学習の推進
ボランティア活動

地球環境の保全
ウエルネス活動
平和な世界

ホームページ
www.kumamoto-ymca.or.jp
メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

